

未来のまちづくりへの貢献 を ご検討中の皆さまへ

呉市からご協力をお願い

企業版ふるさと納税のご案内



公・民・学の連携で 未来を創る まちをリ・デザインする

呉駅 周辺地域 総合開発 とは？

このプロジェクトは 呉駅周辺地域総合開発を 応援いただくプロジェクトです。

呉駅周辺が生まれ変わります！

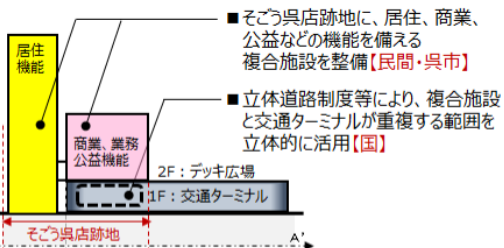
市の玄関口である呉駅前では、平成25年に、そごう百貨店が閉店し、長くそのままの状態となっていました。

その後、令和2年に呉市が跡地財産を全て買い取り、更に令和3年には、次世代型総合交通拠点の整備を目指すバスタプロジェクトの一環として、一般国道31号呉駅交通ターミナル整備が国に事業採択されました。

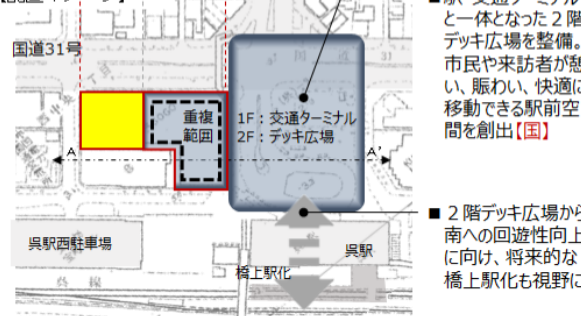
まちなか居住とスマートシティの拠点を形成し、**呉駅周辺をリ・デザイン**していく**呉駅周辺地域総合開発**が、いままさに進行中です。

国・市・民間の連携による新たな手法での駅前整備

【断面イメージ】



【配置イメージ】



～ これまでの歩み ～

- H25. 1 そごう呉店閉店
- H31. 3 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会からの提言
- R 2. 4 呉駅周辺地域総合開発基本計画 策定
- R 2.10 呉市が財産を権利集約
- R 3. 4 一般国道31号呉駅交通ターミナル整備 事業化
- R 4.11 そごう呉店跡地開発の実施事業者を選定
- R 5. 4 財産譲渡契約発効 旧そごう呉店 解体着手
- R 5. 6 一般国道31号呉駅交通ターミナル整備 ECI事業者選定

全国的にも例をみない取組として、業界専門誌で記事を掲載いただいています。



一般財団法人
交通経済研究所
発行

月刊
「運輸と経済」
R5.5月号

公益社団法人
日本道路協会
発行

月刊
「道路」
R5.6月号

ほか

本総合開発のロードマップ

第1期開発（5年後の目指す姿）

- 総合交通結節点の形成
 - ・ バス・タクシー・自家用車と歩行者を分離した駅前広場の整備
- デッキ空間の創出と先進的な活用
 - ・ 交通ターミナルと一体となるデッキ広場の整備
 - ・ 賑わい創出につながる広場空間の利活用



- 呉駅の防災拠点機能の整備
 - ・ 災害時活動拠点の機能整備
 - ・ 災害時の広域的な交通ネットワーク拠点の機能整備
- アーバンデザインセンターによる「公・民・学」が連携したまちづくり
 - ・ アーバンデザインセンターの設立



- 呉駅の南北一体の玄関口の形成
 - ・ JR呉駅の橋上駅化に向けた検討着手
- 複合施設の整備による賑わいとまちなか居住の推進
 - ・ 駅前の賑わいを創出する複合施設の整備



5～15年後の目指す姿

- デッキ上での次世代モビリティの運行
 - ・ デッキ上に小型の次世代モビリティが乗り入れることで地域内におけるデッキ広場の拠点性を強化

15年後～の目指す姿

- 呉市全域における未来志向の「交通まちづくり」を軸としたスマートシティの実現
 - ・ 都市間アクセス、市内移動の両面で、多様なニーズに応える次世代モビリティを導入

地方都市における交通まちづくりとスマートシティ、まちなか居住の拠点形成に向けた新たなチャレンジとして、全国で注目いただいています。
(R4以降20団体の視察を受入)



呉駅周辺地域総合開発
公・民・学
連 携
応援プロジェクト

寄附の
使いみち
は？

公・民・学連携による 地域課題の解決と 新たなチャレンジの 活動資金に充ててまいります。

本総合開発では、第1期開発の整備後もエリア課題の解決に取り組んでいくため、公・民・学の連携組織「アーバンデザインセンター（UDC）」を組成し、その活動拠点を呉駅前に整備することとしています。

また、その前段として、令和5年5月に、「アーバンデザインセンター準備室」を整備・オープンする予定です。

これらの活動拠点を発信源に、アーバンデザインセンターでは、右ページに掲載している先進的な取組にチャレンジし続けていくこととしています。

皆様からいただいた御寄附は、こうした公・民・学連携の活動資金に充ててまいります。

「公・民・学連携まちづくり」の活動拠点の整備に

～ アーバンデザインセンター組成に向けての助走～ アーバンデザインセンター準備室の整備

本総合開発の第1期開発の完了までの間、アーバンデザインセンター組成に向けた助走の場として、アーバンデザインセンター準備室を整備しました。

各種の社会実験や、高校生・大学生などユース世代の新たな居場所として活用するため引き続き機能強化を図ります。



～ 公・民・学連携の活動拠点～ アーバンデザインセンターの整備

本総合開発の第1期開発の整備と併せ、公・民・学連携の本格的な活動拠点を整備する予定です。

新たなチャレンジを目指す全国の仲間が集い、輪を広げ、創造するための空間です。

災害時には帰宅困難者の受入を支援できる各種機能も導入します。



未来に向けたチャレンジへの活動資金に

～ あらゆるデータがつながり 誰でも使える未来へ～ 都市OSの実現に向けた社会実験

第1期開発では、建物内の様々なデータを一元的に管理・活用できる建物OSを民間資金により整備する予定です。更に将来的にはこれを発展させ、一定のエリア内の様々なデータを一元的に管理・活用できるエリアOS・都市OSの実現を目指しています。

～ 空間活用の新しいカタチ～ 公共空間の有効活用に向けた社会実験

本総合開発では、「ほこみち制度」などの新しい制度を最大限に活用し、呉駅前の2階デッキや周辺の公共空間で賑わいを創造することで、呉駅を起点とした周辺の回遊性を向上させていくことを目指しています。

【全国での取組例】呉駅周辺地域総合開発基本計画から抜粋
バスマーケット 大東ズンチャッチャ夜市



柏の葉アーバンデザインセンター
社会実験



～ 時代を変革する先駆的サービスの実装～ 交通まちづくりとスマートシティの実現に向けた交通社会実験

本総合開発では、自動運転を始めとする次世代モビリティやMaaSの実装に向けて、これまで4回の次世代モビリティ走行実験を重ね、令和6年度も交通社会実験を実施予定です。



呉駅を起点としたエリアデザインや、先進先端技術の活用など、公民学連携による新たなチャレンジの活動資金に充ててまいります。



呉駅周辺地域総合開発

公・民・学
連 携
応援プロジェクト

寄附して
いただいた
企業様へ

ご協力企業様の 寄附への熱い想いを PRさせていただきます。

感謝状の贈呈・ご寄附いただいた企業様の御紹介

ご寄附をいただいた全ての企業様に対し、呉市長から**感謝状**を贈呈させていただきます。

また、企業名、企業概要、ご寄附いただいた経緯等を、**呉市ホームページ**で御紹介させていただきます。

感謝状贈呈式

贈呈式の実施をご希望いただける場合は、金額に応じて**感謝状贈呈式**を実施させていただきます。

- ・贈呈式は**100万円以上**ご寄附の企業様を対象とします。
- ・**100万円以上300万円未満**の場合は呉市都市部長から、**300万円以上**の場合は呉市長から贈呈いたします。

公・民・学連携パンフレットへの掲載

令和6年度から、**本総合開発における公・民・学連携の取組成果**をとりまとめた**パンフレット**を作成・配布しています。

このパンフレットの中で、企業名、企業概要、ご寄附いただいた経緯等を掲載させていただきます。

パンフレットは、呉市ホームページやSNSで公表するほか、各種の社会実験の実施に際しても、広く周知します。

【記事掲載区分】

A4版・横の紙面に、

- ・**300万円以上** 青色枠 横1枠
- ・**100万円以上** 黄色枠 横2枠
- ・**100万円未満** 赤色枠 横3枠

のサイズで掲載いたします。

※ 記事の内容はご相談します。

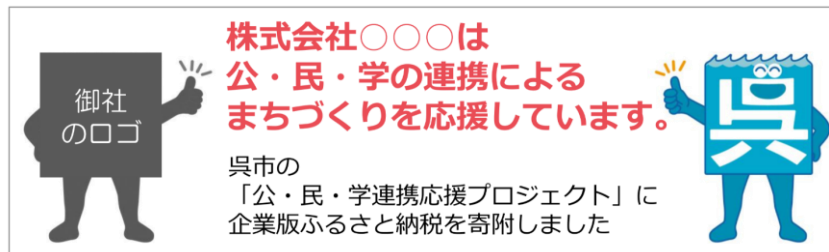
また、紙面の都合上若干のサイズ調整が生じ得ることをご容赦ください。

ご寄附をいただいた皆様(企業版ふるさと納税)		
	300万円以上	8 cm
	100万円以上	6 cm
	100万円未満	4 cm

呉市のイメージキャラクター「呉氏」とのコラボ・ロゴの使用

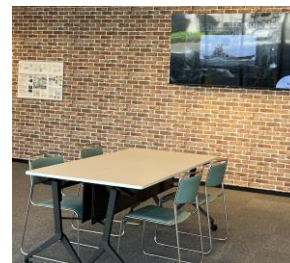
300万円以上ご寄附いただいた企業様のロゴ等と**呉市のイメージキャラクター「呉氏」**とをコラボレーションした以下のデザインの使用を許諾させていただきます。

(基本デザイン)



※ デザインやメッセージの変更については可能な範囲で対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

また、**500万円以上**をご寄附いただいた場合は、上記ロゴを、各種の社会実験での使用機材や、アーバンデザインセンター準備室等の物品に表示させていただきます。



出典：ecomps HP

※ 表示対象とする物品は、当該物品価格とご寄附頂いた額との均衡を踏まえてご相談させていただきます。

※ 表示対象物品によっては、ご寄附頂いた年度と表示を開始する年度が異なる場合があります。

【留意事項】ご寄附金額の取扱いについて
複数年にわたるご寄附の場合、累積額で換算します。

ご協力企業様への感謝を込めて
ご寄附への熱い想いを広くPRさせて
いただきます。

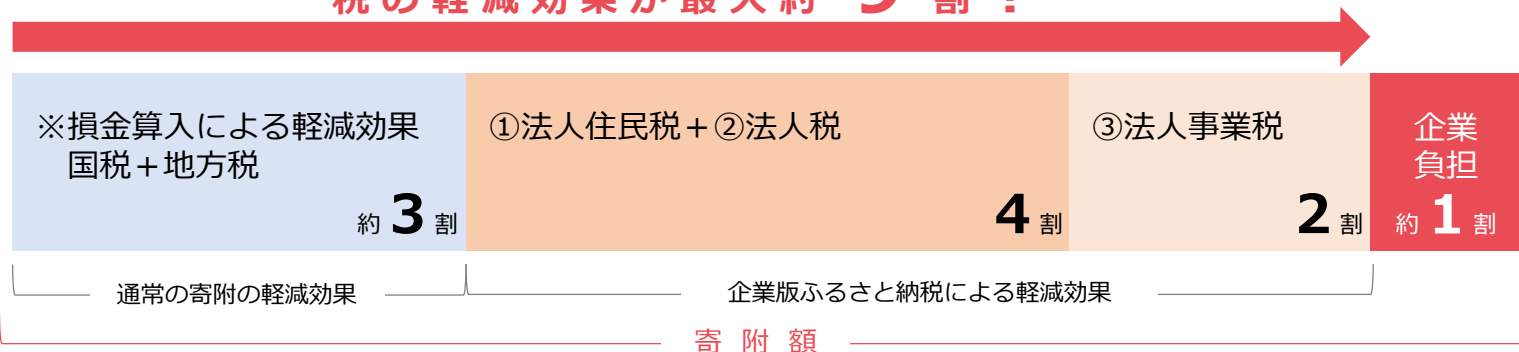


呉駅周辺地域総合開発
公・民・学
連 携
応援プロジェクト

企業版
ふるさと納税
の仕組み

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業からご寄附をいただいた場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。通常の損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせ、最大で寄附額の約9割が軽減され、**実質的な企業の負担が約1割**まで圧縮されます。

税の軽減効果が最大約 **9割** !



区分	※損金算入	企業が地方公共団体に寄附した場合は、その金額が損金算入されるため、寄附額の約3割（法人実効税率）相当額の税の軽減効果があります。
	①法人住民税	寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
	②法人税	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度（法人税額の5%が上限）
	③法人事業税	寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

<留意事項>

- ・10万円以上の寄附が対象です。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象となりません。（呉市内に本社が所在する企業が本市に寄附する場合は対象となりません。）

企業版ふるさと納税で **実質1割負担に!**

例えば1,000万円の寄附で、最大約900万円の法人関係税が軽減されます。

(実際の軽減額の詳細は、税理士など専門家にご相談ください)



呉駅周辺地域総合開発

公・民・学
連 携
応援プロジェクト